

鹿ノ台川柳教室

六月十九日(月)

お題「鳥」(連記)

播本英二選

食べさせて貰えるだけの籠の鳥
 この国に子は運べぬとコウノトリ
 右へ左へ政界の渡り鳥
 拉致家族鳥なら飛んで来れるのに
 低空をツバメ飛びかう雨予報
 鳩が舞う瞳かがやく手品箱
 川蝉を見てちよつとだけ真人間
 巢の上に口だけ並ぶツバメの子
 誠意には誠意で返す鶴の恩
 こんなこと鳥になったらしてみたい
 夕暮れに声を残して鳥帰る
 飽食に巢立ち忘れた子の未来
 目が合ったカラスにひるむゴミの朝
 ⑤見逃さぬ鳥の眼を持つ友がいる
 ⑥鳥合の衆時に思わぬ力出す

義雄
 アキラ
 千楽
 乃り子
 登美
 よう子
 正清
 よし尚
 良一
 えいじ
 宏樹
 勝利
 広子
 哲子
 英二

自由吟(共選)

林 勝利選

追いかける夢が未だに掴めない
 やる気モードをオンにする褒め言葉
 失敗は忘れず明日の守り札
 けつまずく事多くなり悟る老い
 エーアイの偉力絶大棋士合戦
 ツバメの巢無人になった子供部屋
 ポチですもの付度もするお手もする
 コロンよりフアブリーズです加齢臭
 答よりも母の涙が身に沁みる
 口紅を落して今日を解除する
 御朱印に達筆待って小半日
 遠からず三季になって紫外線
 バラよりも雨に寄り添う花が好き
 哀しみが人を磨くと信じたい
 公務員見知らぬ街へ納税し
 ⑤折れそうになると賢治の詩をなぞる
 ⑥生き抜いた証に見せた脛の傷

よう子
 良一
 広子
 アキラ
 登美
 英二
 義雄
 哲子
 義雄
 哲子
 よう子
 正清
 正清
 正清
 哲子
 広子
 英二
 良一
 勝利

自由吟（共選）

笹倉良一選

勝ち続け僥倖ですと中学生
 雨合羽空梅雨つづきお蔵入り
 コロンよりフアブリーズです加齢臭
 有為転変豊洲築地とゆれ動く
 相席が持病同じでメル友に
 口紅を落して今日を解除する
 失敗は忘れず明日の守り札
 ツバメの巢無人になった子供部屋
 熟年カップル体型そっくりに
 追いかける夢が未だに掴めない
 答よりも母の涙が身に沁みる
 けつまずく事多くなり悟る老い
 遠からず三季になって紫外線
 バラよりも雨に寄り添う花が好き
 御朱印に達筆待って小半日
 生き抜いた証に見せた脛の傷
 哀しみが人を磨くと信じたい
 ④ポチですもの忖度もするお手もする
 ⑤やる気モードをオンにする褒め言葉

千 楽
 えいじ
 哲 子
 乃り子
 よし尚
 よう子
 広 子
 英 二
 千 楽
 よう子
 義 雄
 アキラ
 正 清
 哲 子
 正 清
 勝 利
 広 子
 義 雄
 良 一

お題「飛ぶ」（互選）

②金目指し鍛える心明日へ飛ぶ
 来るかもねドローンいっぱい飛び交う日
 手を振った別れを悔いる飛行雲
 ③飛び込めば運が弾んで付いてくる
 救急車わからぬままにうわさ飛ぶ
 子供らが欄干で待つ肝だめし
 飛翔体十分で着く遠い国
 テーマパーク論吉群れ成し飛んでゆく
 ④木の校舎拳固は愛の鞭だった
 飛んでからどこに降りるか迷ってる
 記憶飛ぶ国会答弁おたおたと
 何処に落ちた三本の矢を探してる
 飛んできた噂に今日を棒にふる
 ⑤飛び箱が飛べて万才一年生
 デマばかり飛ばし核心触れもせず
 群れ飛べば弱い雀も鷹になる
 ⑥飛ぶ鳥を落した過去も語らない
 ⑧思いきり何度飛んでも今の位置
 ⑩送別会飛ばされた人飛んだ人

宏 樹
 よし尚
 義 雄
 良 一
 登 美
 えいじ
 英 二
 アキラ
 良 一
 廣 子
 乃り子
 英 二
 よう子
 よし尚
 勝 利
 正 清
 よう子
 哲 子
 アキラ

*良一さんが二か月ぶりに参加したのを始め、出席十五人の割ににぎやか。連記「鳥」でユニークな句が目立った。「この国に子は運べぬコウノトリ」「見逃さぬ鳥の目」。

互選でtopとなった「送別会」。助詞の入らぬのは問題、という声に作者は猛反発「傘月刊誌には、同じ助詞抜きがなんぼでもある」と収まらなかった。好み、キャリア等多様な集まりで意見・異見があるのは当然、にぎやかにやりましよう。良一さん同様、久しぶりの勝利さんは大車輪の活躍。作品の書き出しに達筆をふるったのを始め、選者、司会と大忙しだった。ご苦労様でした。(千)

次回、七月十七日、午後一時から、西集会所。

お題、「極意」、「それから」、それに「自由吟」。各二句。

「極意」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

「それから」は選者二人の共選、二部提出のこと。

ホームページを御覧の皆様へ

「脳トレに 仲間作りに 五七五」

楽しくやっています。句会見学、ご入会、大歓迎。

お問い合わせは左記に なんなりと。

問合せ

五十嵐修 (79・0751)、原広子 (79・0061)